



令和2年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和2年2月10日

上場会社名 あんしん保証株式会社 上場取引所 東
コード番号 7183 URL <https://anshin-gs.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)雨坂 甲
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部担当 (氏名)中西 光明 (TEL)03(6627)3440
四半期報告書提出予定日 令和2年2月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第3四半期の業績(平成31年4月1日～令和元年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	2,442	8.5	246	51.4	298	46.7	195	69.2
31年3月期第3四半期	2,252	21.3	162	202.0	203	91.6	115	100.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	10.85	—
31年3月期第3四半期	6.41	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第3四半期	4,543	2,332	51.2
31年3月期	3,932	2,172	55.1

(参考) 自己資本 2年3月期第3四半期 2,324百万円 31年3月期 2,165百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2年3月期	—	0.00	—	—	—
2年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年3月期の業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,430	7.8	310	12.7	360	5.9	222	6.2	12.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2年3月期3Q	17,976,600株	31年3月期	17,976,600株
2年3月期3Q	112株	31年3月期	—株
2年3月期3Q	17,976,492株	31年3月期3Q	17,976,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は国内需要を中心に底堅く推移しましたが、米中通商問題、中国・欧州経済の減速等海外経済の動向や消費税率引上げの影響で、国内需要もやや弱い動きとなりました。

賃貸住宅市場におきましては、令和元年12月の時点で新規住宅着工戸数が前年同月比7.9%減少となる中、貸家着工件数は前年同月比10.3%の減少となりました。(国土交通省総合政策局建設経済統計調査室発表：令和元年12月の住宅着工の動向について)

このような事業環境のもと、当社は業容拡大を図るべく戦略的な人員の増強と若手社員の教育に注力するとともに、トップラインの向上を目指して、ニーズに合った商品プランの提案強化、新プランによる新規加盟店開拓に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、営業収益2,442,468千円(前年同期比8.5%増)と、増収となりました。また、利益につきましては、営業利益246,634千円(前年同期比51.4%増)、経常利益298,033千円(前年同期比46.7%増)、税引前四半期純利益298,121千円(前年同期比55.8%増)、四半期純利益195,128千円(前年同期比69.2%増)となりました。

当社の事業セグメントは、家賃債務保証事業の単一セグメントでありますので、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産につきましては、前事業年度末に比べ610,677千円増加の4,543,060千円(前事業年度末比15.5%増)となりました。増加の主な要因は、現金及び預金が129,002千円増加したこと、営業未収入金が213,896千円減少したこと、求償債権が83,426千円増加したこと、収納代行立替金が685,211千円増加したこと及び貸倒引当金が59,220千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前事業年度末に比べ451,456千円増加の2,211,047千円(前事業年度末比25.7%増)となりました。増加の主な要因は、短期借入金が700,000千円減少したこと、営業未払金が95,237千円減少したこと、未払法人税等が91,396千円減少したこと及び収納代行預り金が1,387,602千円発生したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ159,220千円増加の2,332,013千円(前事業年度末比7.3%増)となりました。増加の主な要因は、四半期純利益195,128千円を計上したこと及び剰余金の配当35,953千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、令和元年5月13日に発表しました業績予想から修正を行っておりません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和元年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	655,981	784,983
営業未収入金	467,379	253,482
求償債権	1,051,147	1,134,573
収納代行立替金	1,629,754	2,314,965
前払費用	20,323	23,399
その他	12,905	6,923
貸倒引当金	△428,963	△488,183
流動資産合計	3,408,528	4,030,145
固定資産		
有形固定資産	8,975	27,856
無形固定資産	304,281	302,047
投資その他の資産	210,597	183,010
固定資産合計	523,855	512,914
資産合計	3,932,383	4,543,060
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,000,000	300,000
営業未払金	202,095	106,858
未払金	57,129	56,854
未払費用	27,380	32,449
未払法人税等	107,650	16,253
収納代行預り金	—	1,387,602
預り金	12,592	23,598
前受収益	176,681	147,662
賞与引当金	68,805	36,220
保証履行引当金	79,307	73,246
その他	13,896	18,304
流動負債合計	1,745,539	2,199,050
固定負債		
その他	14,050	11,996
固定負債合計	14,050	11,996
負債合計	1,759,590	2,211,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	680,942	680,942
資本剰余金	435,942	435,942
利益剰余金	1,048,172	1,207,347
自己株式	—	△33
株主資本合計	2,165,057	2,324,199
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	79
評価・換算差額等合計	0	79
新株予約権	7,734	7,734
純資産合計	2,172,793	2,332,013
負債純資産合計	3,932,383	4,543,060

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
営業収益	2,252,040	2,442,468
営業費用	2,089,189	2,195,833
営業利益	162,850	246,634
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	6	7
受取遅延損害金	32,549	40,485
償却債権取立益	11,047	15,569
その他	17	177
営業外収益合計	43,623	56,243
営業外費用		
支払利息	3,285	4,845
営業外費用合計	3,285	4,845
経常利益	203,189	298,033
特別利益		
固定資産売却益	9	87
特別利益合計	9	87
特別損失		
固定資産除却損	11,793	—
特別損失合計	11,793	—
税引前四半期純利益	191,405	298,121
法人税、住民税及び事業税	70,022	83,700
法人税等調整額	6,091	19,291
法人税等合計	76,113	102,992
四半期純利益	115,291	195,128

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。